

各関係機関長様
各関係者様

佐賀県農業技術防除センター所長

タマネギベと病の防除徹底について

タマネギベと病は、秋から冬に苗床または本ぼでタマネギに感染した後、1月以降に越年罹病株が発生します。越年罹病株の発生を抑えるには、苗床及び本ぼ定植後からの予防防除が重要です。

本年は、天候不順等の影響を受け、本ぼ準備や定植作業が遅れぎみとなっていますが、今後の防除が適切に実施されますよう、下記事項を参考に生産者への指導をお願いします。



タマネギベと病越年罹病株

記

1. 今作での発生条件

- 1)近年、べと病は多発傾向にあり、特に前作では多くのほ場で多発生となったため、ほ場の菌密度は高いと考えられる。

2. 防除対策

(詳細は、平成28年10月18日付け病害虫対策資料第16号を参照)

1)苗床での伝染防止

苗床での伝染を防止するために、育苗期に定期的に薬剤防除を行う。なお、定植が遅れる場合には、12月上旬及び下旬に苗床で防除を行う。

2)本ぼの準備

丁寧に耕起し、時間に余裕をもって本ぼの準備を行う。

3)本ぼ定植後の伝染防止

定植株への伝染を防止するために、活着後に薬剤防除を必ず実施する

4)薬剤の選定と散布時期

各地域の防除暦に応じて農薬を散布する。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部
〒840-2205 佐賀市川副町南里1088
TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085